

ARCHTECTURE REVIEW



建築見て歩記 その28

「小牧市立図書館」…「像設計集団」の設計で、1978年に開館しました。外観は、内部にニッチ空間を作る「ギザギザ」が特徴的です。内部には「光路」と呼ばれる吹き抜けがあり、高い天井の上部から、気持ちよい光が降り注いでいます。しかし、既に、新居千秋氏の設計により、駅前での新図書館計画が進んでおり、この建築は解体されるかもしれません。

CURRENTLY WORKS



調剤薬局へのデジタルサイネージの導入

SC内にある薬局の改修です。10年前にも当社が設計させて頂きました。当時は、「調剤薬局」と「薬店」の複合店として計画しましたが、今回調剤部門に注力したいとの要望を受け、その充実を図りました。さらに「処方せん受付」を訴求したいとの要望から、デジタルサイネージ導入を提案し、近隣の風景や季節感も織り交ぜたコンテンツも作成しました。

PRIVATE TOPICS



岡島の「建築への想い」

小学生の頃だったか…松坂屋で、初めて「レゴ」を買ってもらいました。プラモデル大好き少年だった私は、夢中になりました。つい最近知人に「帝国ホテル」の「レゴ」を頂き、嬉しくて跳び上がりました。自分で作りたいのを我慢して、出来るだけ孫に作らせて一緒に楽しみましたが完成度に満足しました。「レゴ」は、私の建築好きの原点かもしれません…。

EDITIONAL NOTE

11月は「霜月」です。これに関連して「霜降月」「霜見月」とも言います。その他に「神楽月」「建子月」「神帰月」「竜潜月」「雪待月」などがあります。特に「雪待月」は、冬の降雪を、好ましく捉えており日本人の風流を好む心が窺えます。英語のノーベンバーは、前回同様ラテン語の9番目からだそうです。

編集担当：太田・藤原